本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

P

CASIO
2292＊JA

取扱説明書

2292

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでおためしください。

■本機の特長

●EL バックライト
暗いところでも表示を明るく照らします。

●ワールドタイム機能
世界 27 タイムゾーン（40 都市）の時刻を表示させることができます。

●デイカウンター機能
今日から設定日までの日数を表示することができます。また、設定した「月日」になると表示で知らせてくれます。

●テレメモ機能
名前（8 文字）と電話番号（12 桁）のデータを 20 件メモリーできます。

●ストップウオッチ機能
1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。

●アラーム機能
任意の時刻にアラームを鳴らすことや、毎正時（00 分）に時報を鳴らすことができます。
※アラーム・時報はホームタイムまたはワールドタイムに合わせて鳴らすことができます。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。



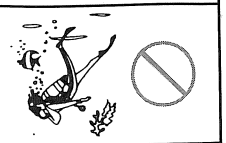
⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

ライト点灯について

どのモードでも、

Ⓛ ボタンを押します

➡約３秒間文字板が発光します。

※時刻モードのときは、ライト点灯に合わせてホームタイム都市を表示します。

<時刻モード>



<ご注意>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にⓁボタン以外のボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

目次

安全上のご注意 1

ライト点灯について 4

操作のしくみと表示の見方 6

ワールドタイムの使い方 8
- 都市のサーチ …… 8
- サマータイム（DST）について …… 8
- サマータイムの設定 …… 8
- 都市コード一覧 …… 9

デイカウンター機能の使い方 10
- メモリーを見る …… 10
- タイトル、設定日のセット …… 10
- 設定した「月日」になると …… 11

テレメモ機能の使い方 12
- データを見る …… 12
- データを入力する …… 12
- データを修正する …… 13
- データを消去する …… 13

ストップウオッチの使い方 14
- 計測のしかた …… 14

アラーム・時報の使い方 15
- アラーム時刻のセット …… 15
- アラーム・時報のON／OFF設定 …… 16
- 鳴っている電子音を止めるには …… 16
- モニターアラーム …… 16

時刻・カレンダーの合わせ方 17
- 「秒」合わせ …… 17
- 「時刻・カレンダー」合わせ …… 17

製品仕様 …… 20
ご使用上の注意 …… 21
お手入れについて …… 23
電池交換について …… 23

操作のしくみと表示の見方

Ⓑ ボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります。
※デイカウンターモード、テレメモードのまま２～３分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード

00秒になるとホームタイム都市コードを一瞬表示します。
30秒になるとヒョウアニメを3秒間表示します。



※Ⓑボタンを押してアラームモードから戻ると、ホームタイム都市コードを一瞬表示します。
※時刻モードでは、時・分表示が回転するように切り替わります。

★表示切替について
時刻モードで、Ⓒボタンを押すごとに「曜日」と「月」とが切り替わります。



★12/24時間制表示切替について
時刻モードで、Ⓒボタンを約2秒間押すごとに12時間制表示（午前“A”／午後“P”）と24時間制表示とが切り替わります。

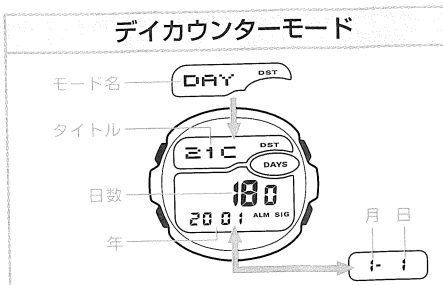
★曜日の見方

SU：日	MO：月	TU：火	WE：水
TH：木	FR：金	SA：土	

ワールドタイムモード



デイカウンターモード



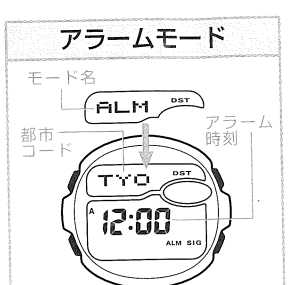
テレメモード



ストップウオッチモード



アラームモード



ワールドタイムの使い方 Ⓑボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界27タイムゾーン（40都市）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。
※時刻モードでホームタイムおよび都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
※ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動しています。
※ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓒボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに「都市コード」が進み、各都市の時刻が表示されます。
※押し続けると早送りします。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご使用の際には十分ご注意ください。

■サマータイムの設定

サマータイムのON／OFFを設定することができます。

ワールドタイムモードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

➡DST ONマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※DST ONマークが点灯しているときに、Ⓐボタンを約2秒間押すと通常の時刻に戻ります。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	JRS	+2	エルサレム
HNL	−10	ホノルル	JED	+3	ジッダ
ANC	−9	アンカレジ	THR	+3.5	テヘラン
YVR	−8	バンクーバー	DXB	+4	ドバイ
SFO	−8	サンフランシスコ	KBL	+4.5	カブール
LAX	−8	ロサンゼルス	KHI	+5	カラチ
DEN	−7	デンバー	MLE	+5	マーレ
MEX	−6	メキシコシティ	DEL	+5.5	デリー
CHI	−6	シカゴ	DAC	+6	ダッカ
MIA	−5	マイアミ	RGN	+6.5	ヤンゴン
NYC	−5	ニューヨーク	BKK	+7	バンコク
CCS	−4	カラカス	SIN	+8	シンガポール
RIO	−3	リオデジャネイロ	HKG	+8	香港
LON	+0	ロンドン	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
MIL	+1	ミラノ	ADL	+9.5	アデレード
ROM	+1	ローマ	GUM	+10	グアム
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
IST	+2	イスタンブール	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2000年12月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

デイカウンター機能の使い方 Ⓑボタンを押して、デイカウンターモードにします。

デイカウンターモードでは、タイトル（８文字）と年月日を５件メモリーでき、自動的に今日からの日数をカウントして表示します。
デイカウンターモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

●未来の予定日などを設定…今日からの残日数を表示
●過去の記念日などを設定…今日までの経過日数を表示
※工場出荷時は、タイトルなし、2001年1月1日で５本ともメモリーされています。

メモリーを見る



デイカウンターモードのとき、Ⓒボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとにページが切り替わります。
※１秒ごとに「年」と「月・日」の表示が切り替わります。
※タイトルが4文字以上のときは、右から左に流れて表示されます（タイトルの最後に“◀”マークがつきます）。

タイトル、設定日のセット

(1) セットしたいページを選びます

デイカウンターモードのとき、Ⓒボタンを押します



➡ Ⓒ ボタンを押すごとにページが切り替わりますので、セットしたいページを選びます。

(2) セット状態にする

Ⓐ ボタンを約２秒間押します



➡ タイトルの１桁目が点滅します。

(3) 点滅箇所のセット

Ⓒ ボタンを押します



➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進みます。
※ 押し続けると早送りします。

(4) セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が「タイトル1桁目～8桁目→年→月→日→タイトル1桁目…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。
※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。

表示が点滅しているときにⒸボタンとⓁボタンを同時に押すと、タイトルが消去（CLR表示）されて、今日の日付がセットされます。

(3) ～ (4) の操作を繰り返して、タイトル、設定日をセットします。

※タイトルは最大８文字まで入力できます。
※入力できる文字は、（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（.－）です。
※「年」は1940～2039年までセットできます。

(5) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

設定した「月日」になると

時刻モードのカレンダーと設定した「月日」が一致すると、時刻モード、デイカウンターモードの該当ページで“DAYS”マークが点滅して知らせてくれます。

<時刻モード>



“DAYS”マーク（点滅）

テレメモ機能の使い方 Ⓑボタンを押して、テレメモモードにします。

テレメモモードでは、名前（8文字）と電話番号（12桁）のデータを20件メモリーできます。
テレメモモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■データを見る

テレメモモードのとき、Ⓒボタンを押します



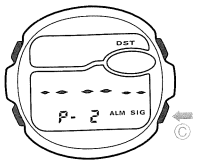
➡Ⓒボタンを押すごとにページが切り替わります。
※押し続けると早送りします。
※名前部が4文字以上のときは、右から左に流れて表示されます（名前部の最後に"◀"マークがつきます）。
※電話番号が7桁以上のときは、最初の6桁を2秒間表示後、右から左へ流れて表示されます。
※電話番号部にデータを入力していないときは、"ーーーーーーー"と表示されます。

■データを入力する

(1) 空きページを選ぶ

テレメモモードのとき、Ⓒボタンを押して、空きページを表示させます

<空きページ>



※データがすでに20件メモリーされているときは不要なデータを消去しておいてください（「■データを消去する」参照）。

(2) セット状態にする

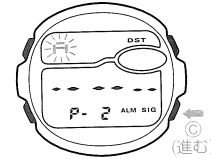
Ⓐボタンを約2秒間押します



➡名前部の1桁目が点滅します。

(3) 点滅箇所のセット

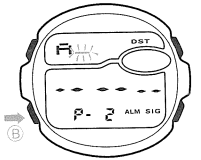
Ⓒボタンを押します



➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進みます。
※押し続けると早送りします。

(4) セット箇所を選ぶ

Ⓑボタンを押します



➡Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部1桁目～8桁目→電話番号1桁目～12桁目→名前部1桁目…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。
※押し続けると点滅箇所が早く移動します。

(3)～(4)の操作を繰り返して、データを入力していきます。

※名前は最大8文字、電話番号は最大12桁まで入力できます。
※入力できる文字は、名前部セットのときは（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（.－）で、電話番号部セットのときは－、0～9、（空白）です。

(5) セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■データを修正する

(1) Ⓒボタンを押して修正したいページを選びます。

(2) Ⓐボタンを約2秒間押します。
➡名前部の1桁目が点滅します。

(3) 修正したい部分までⒷボタンを押して点滅を送り、Ⓒボタンを押して文字（数字）を修正します。

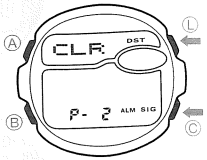
(4) 修正が終わりましたら、Ⓐボタンを押します。

■データを消去する

(1) Ⓒボタンを押して消去したいページを選びます。

(2) Ⓐボタンを約2秒間押します。
➡名前部の1桁目が点滅します。

(3) Ⓒボタンと Ⓛボタンを同時に押します。
➡"CLR"表示後、データが1件消去されます。
※このとき引き続き他のデータを入力することができます。



(4) 消去が終わりましたら、Ⓐボタンを押します。

ストップウオッチの使い方　Ⓑボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（“SPL” 表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓒ ➡ Ⓒ ➡ Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒸボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓒ ➡ Ⓐ ➡ Ⓐ ➡ Ⓒ ➡ Ⓐ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット

●1・2着同時計測

Ⓒ ➡ Ⓐ ➡ Ⓒ ➡ Ⓐ ➡ Ⓐ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

アラーム・時報の使い方　Ⓑ ボタンを押して、アラームモードにします。

アラームは、時分を設定でき、設定した時刻になると20秒間電子音が鳴ります。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

※アラーム・時報はホームタイムまたはワールドタイムに合わせて鳴らすことができます。

■アラーム時刻のセット

(1) セット状態にする

アラームモードのとき、Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡「都市コード」が点滅します。
※アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



(2)「都市コード」を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとにホームタイム都市とワールドタイム都市*が切り替わります。
*ワールドタイムモードで表示させている都市コードのみ表示します。



※ホームタイムに合わせて鳴らしたいときはホームタイム都市、ワールドタイムに合わせて鳴らしたいときはワールドタイム都市を表示させます。
※ホームタイムまたはワールドタイムをサマータイム（DST）ON設定にしているときは、アラームモードでもDST ONマークが点灯します。

(3)「時」のセット

Ⓑ ボタンを押します

➡アラーム時刻の「時」が点滅します。
※「時」の午前“A”／午後“P”、または24時間制にご注意ください。
※ホームタイムを24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。



(4) Ⓒボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。

(5)「分」のセット

Ⓑ ボタンを押します

➡アラーム時刻の「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様にⒸボタンを押して数字を選びます。



(6) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

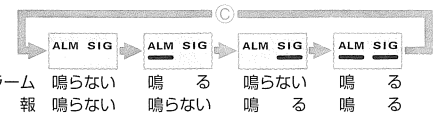
＜ご注意＞
セット後、ホームタイム都市またはワールドタイムモードで表示させている都市を変更すると、アラームモードで設定した都市も自動的に変わります。

■ アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき、Ⓒボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに、アラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。
※アラームを鳴らしたいときはアラームマーク、時報を鳴らしたいときは時報マークを点灯させます。それぞれのマークを消しておくと、アラーム・時報は鳴りません。





■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓒボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

時刻・カレンダーの合わせ方 以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。なお、月に1度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

■「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

(1) セット状態にする

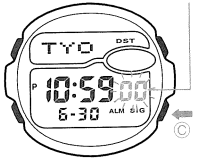
時刻モードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。



(2) **時報に合わせてⒸボタンを押します**

➡「00秒」からスタートします。
※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。



(3) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

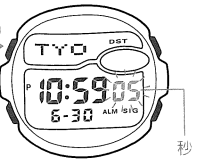
➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■「時刻・カレンダー」合わせ

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。

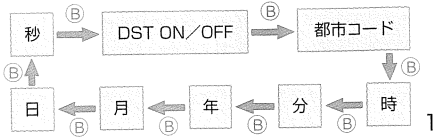


(2) セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





(3) 点滅箇所のセット

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンで、点滅箇所をセットします。

★「DST ON／OFF」セットのときは…



➡ DSTのONとOFFが切り替わります。

※OF=OFF（通常時間）
ON=ON（夏時間）

※DSTをONにすると、通常の時刻より１時間早まります。

※DSTについては８ページ参照。

★「都市コード」セットのときは…



➡ Ⓒボタンを押すごとに「都市コード」が進みますので、ホームタイム都市を選びます。

※押し続けると早送りします。

※都市コードについては9ページ参照。

★「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…



➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※押し続けると早送りします。

※「時」の午前“A”／午後“P”、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(2)～(3)の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

(4) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

memo

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時・分・秒、
午前(A)／午後(P)／24時間制表示、
月・日・曜日、都市コード、
フルオートカレンダー(2000～2039年)
ワールドタイム機能：世界27タイムゾーン（40都市）の時刻を表示
サマータイム設定機能
デイカウンター機能：タイトル（8文字）と年月日を5件メモリー
設定範囲＝1940～2039年
今日から設定日までの日数を表示
「月日」一致報知機能
テレメモ機能：名前（8文字）と電話番号（12桁）を20件メモリー
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99
(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2着同時計測
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝時・分
電子音＝20秒
時報　毎正時2回電子音で報時
都市(ホームタイム／ワールドタイム)
選択機能
その他：自動復帰機能、
12/24時間制表示切替、
サマータイム設定機能、
EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
CMOS-LSI
使用電池：CR-1616（電池別途販売）
電池寿命：約2年
（電子音20秒間／日、ライト3秒間／日使用した場合）
※ただし、ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
• 1日当たりライト9秒間使用
…約17ヶ月
• 1日当たりライト15秒間使用
…約13ヶ月

ご使用上の注意

防水性

● **表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。**

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※ BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

● **表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。**
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください（特殊な治具を必要とします）。
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度

● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
● ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

● 腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。
● 腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気

● 時計機能には影響ありません。

薬品類

● 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくと色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
- 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
  - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
    ※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
  - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
  - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
  - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
  - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます（防水検査は別途有料となります）。